

県政150周年記念ロゴマークキャラクター

いこまいまい あいちゅん



愛知県図書館報 No.23

あゆち

特集 図書館と学ぶ愛知県事始め

2022年は愛知県政150周年の記念イヤーです。
それにちなみ、愛知県図書館で所蔵している愛知県の
始まりを知ることができる資料をご紹介します。

愛知県の誕生

明治維新による愛知県誕生に関する資料をご紹介します。

沿革

明治維新により明治2（1869）年6月に版籍奉還が行われ、明治4（1871）年7月に廃藩置県が行われました。しかし、藩がそのまま県となったことから旧12藩に加えて他の地方の藩の飛び地等も存在しており、その錯綜した状態を解消するために統廃合が進められていきます。

明治4（1871）年11月、三河では10県を廃止して新たに三河国一円と尾張国知多郡を管轄する「額田県」が設置されます。尾張では名古屋県と犬山県を廃止して改めて尾張七郡を管轄する「名古屋県」を設置し、明治5（1872）年4月には「愛知県」と改称しました。

明治5（1872）年11月に額田県が廃止されて愛知県に統合され、尾張・三河を範囲とする現在の「愛知県」が成立しました。



◀『尾張明細図』
(大区小区管内図)
小田切 春江／画
明治5（1872）年
▼一部拡大

絵 DA

▶『元豊橋県
管轄之図』
明治4（1871）年頃
一部拡大▼

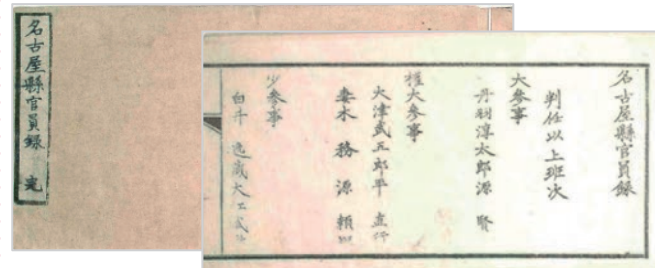
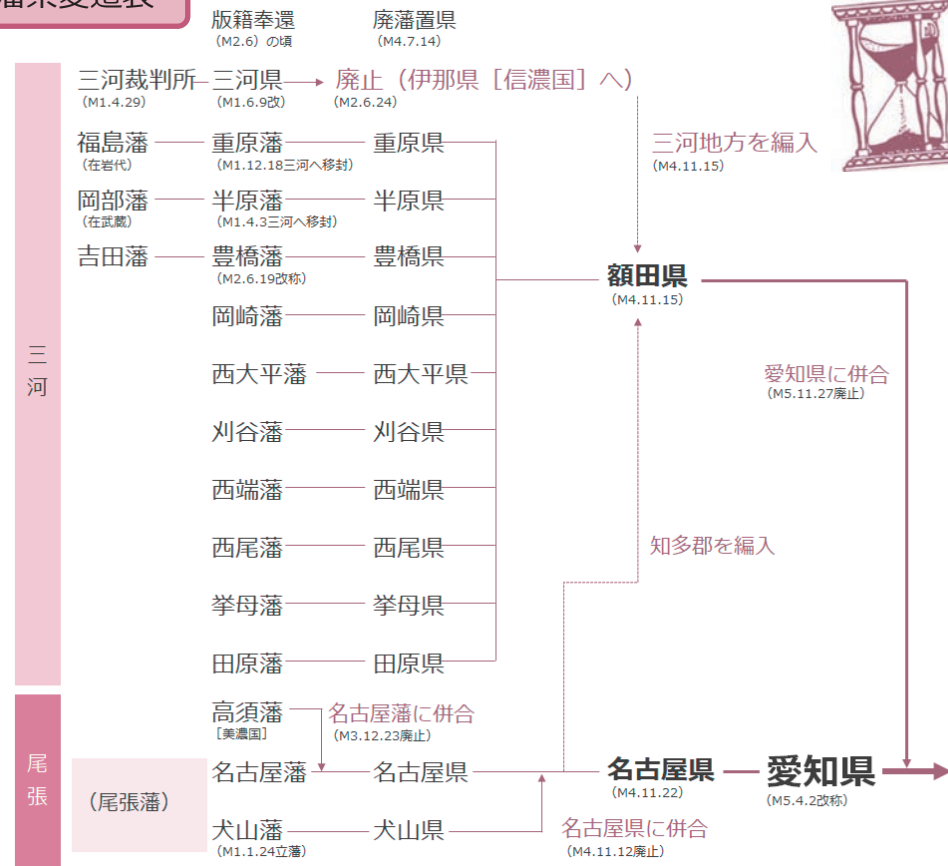


本図は額田県併合前の尾張国絵図で、旧愛知県管轄地と額田県管轄となった知多郡の大区小区の区割りが分かる珍しい地図です。



豊橋県は、明治4（1871）年11月額田県の成立により廃止されました。

藩県変遷表



貴 DA

▲『名古屋縣官員錄』明治4（1871）年

名古屋縣は、明治4（1871）年7月14日の廃藩置県から明治5（1872）年4月2日の旧愛知県誕生までの間存在しました。



貴 DA

『額田縣疆記聞 第1号』明治5（1872）年 ▲

額田縣時代の明治5（1872）年に発行された三河で最初の新聞です。

※DA マークがついている資料は愛知県図書館のデジタルアーカイブでご覧いただけます。7ページをご参照ください。

愛知県の明治

明治政府は富国強兵・殖産興業の政策をとって西洋の制度や技術、文化を積極的に輸入しました。そうした近代化・西洋化が進められた文明開化の時代の愛知県の姿や出来事等に関する資料をご紹介します。

愛知県の庁舎の歴史



年号	西暦	月	事項
明治 4	1871	7	廃藩置県により尾張に 2 県、三河に 10 県を設置。各県庁は旧藩庁・陣屋に設置
		11	尾張の犬山県と名古屋県を廃止し、改めて名古屋県を設置、県庁は名古屋城内の旧藩臣邸。三河の 10 県を廃止し額田県を設置、県庁は岡崎城内
5	1872	4	名古屋県を愛知県と改称
		11	額田県が愛知県に併合【現在の愛知県の誕生】
7	1874	11	県庁を名古屋古渡町東本願寺別院内に移転、仮庁舎とする
10	1877	6	県庁を名古屋市南久屋町へ新築移転
33	1900	4	県庁を名古屋市南武平町へ新築移転
昭和 13	1938	4	県庁を名古屋市西区南外堀町へ新築移転【現在の本庁舎】



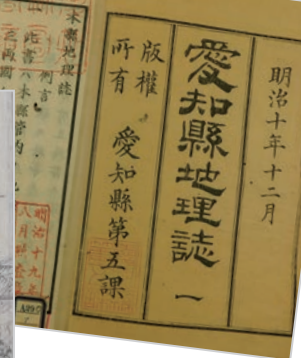
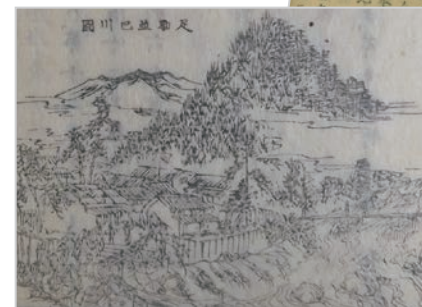
▲「旧愛知県庁舎」『愛知県史 第3巻』
昭和 14 (1939) 年
明治10(1877)年 6 月、南久屋町（現在の名古屋市中区役所周辺）に新築された庁舎。



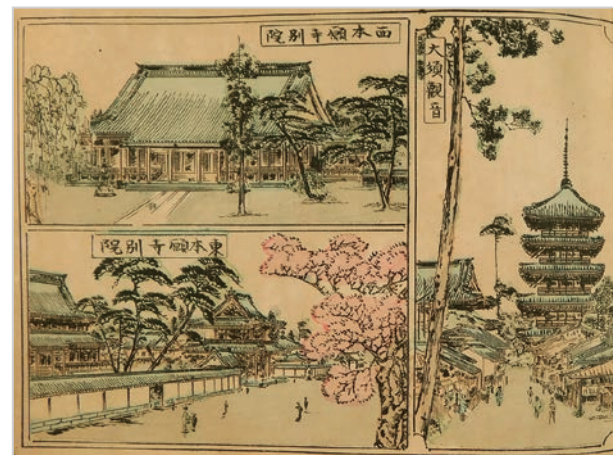
▲「愛知県庁」『名古屋案内』
明治43(1910)年
明治33(1900)年 4 月、南武平町（後に中区新栄町2丁目と町名変更。現在の愛知芸術文化センター周辺）の旧第一師範学校の跡地に新築移転した庁舎。

『愛知県地理誌』▶
愛知県第五課／編輯
愛知県師範学校
明治10(1877)年

本書は小学校用の地方誌教科書で、「巻1」では尾張、「巻2」では三河を扱っています。左の図版は、足助並巴川図。



▼『尾張国名所独案内』^{ひとりあんない} 浅井 広国／著 明治26(1893)年



「独案内（ひとりあんない）」とは、「人にたずねる必要なく、読めばおのずからわかるように書いてある書物」（『日本国語大辞典』より）のこと。図右側の大須観音の五重塔は、明治25(1892)年に焼失しています。

▼『愛知県唱歌』（訂正再版）
大和田 建樹／作歌 石田 元季／補修 安田 俊高／作曲
明治44(1911)年

作歌の大和田建樹は有名な「鉄道唱歌」の作詞者であり、本唱歌は愛知県全域の名所・旧跡等、地理的要素を盛り込んだ歌詞・全35番より構成されています。



は DA ▲「正面より観たる愛知県庁」
『愛知県庁舎絵はがき』

昭和13(1938)年 4 月に新築移転した現在の本庁舎。



明治期の愛知の産業

▼『愛知県^{ひとりあんない}独案内』明治33(1900)年
明治33(1900)年開催の第六回東海農区農会の参加者の便覧に供するために作成されたものです。図版は、愛知県水産試験場(篠島)です。



▼「愛知県商品陳列館」
『名古屋市名勝写真帖』明治43(1910)年
明治43(1910)年、県内の産業振興を目的として第十回関西府県聯合共進会の開催と同じ年に大須門前町に建てられました。

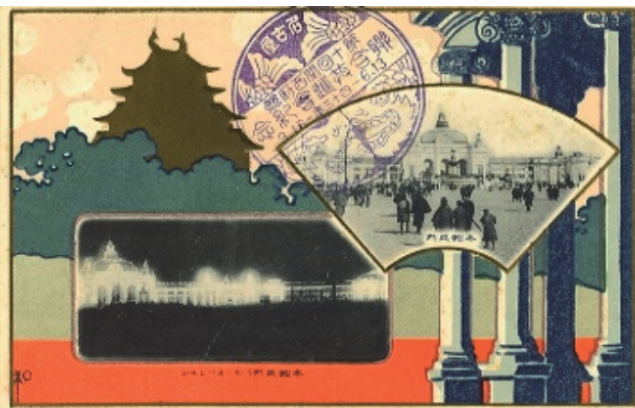


は DA ▼『第十回^{れんごう}関西府県聯合共進会記念絵葉書』明治43(1910)年

この共進会は、大阪で第一回が開催されて以来3～5年ごとに西日本の各地で開催されてきた地方博覧会です。明治43(1910)年の名古屋での開催が最後となり、造成されたばかりの鶴舞公園等を会場として豊田佐吉の発明した織機などが出品されました。



▲写真(上) 貴賓館／(下) 奏楽堂



▲写真(左) 本館正面イルミネーション／(右) 本館正面噴水塔と奏楽堂は再建されたものが現在も残っています。

〈参考文献〉

『愛知県史』通史編5～7 (愛知県 2017～2019年)
『日本初期新聞全集39』(ペリカン社 1993年)
『県庁舎の歴史』(愛知県公文書館 1987年) 等

愛知県史について

「愛知県」のことを調べるためには、まず『愛知県史』を見ることが近道になる場合が多いです。『愛知県史』についてご紹介します。

『愛知県史』編さん事業は、本県の原始・古代から現代に至る歴史的発展過程を明らかにし、また、多くの貴重な資料を県民共通の財産として後世に残すため、1994年4月から始まりました。2020年3月までの26年間で全58巻(通史編10巻・資料編36巻・別編12巻)を刊行しました。



『愛知県史』は愛知県公文書館、愛知県内公立図書館、都道府県立中央図書館で閲覧できます。

(愛知県公文書館 Web サイト「愛知県史について」<https://kobunshokan.pref.aichi.jp/prefecture/> より)

『愛知県史』の目次を、愛知県図書館Webサイト内の「愛知県関係地域資料ポータル」に全巻分PDFファイルで掲載しています。ご来館前の下調べにぜひご活用ください。

<https://websv.aichi-pref-library.jp/aichiportal/aichiportal.html#rekishi>



愛知県図書館の4つのデジタルアーカイブ

この冊子で紹介している資料で **DA** マークがついているものは、愛知県図書館のWebサイト内以下4つのデジタルアーカイブでご覧いただけます。ぜひご利用ください。

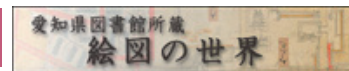
貴 DA



貴重和本デジタルライブラリー
近世及び近代初期の貴重和本が閲覧できます。



絵 DA



絵図の世界
愛知県関係の江戸期の古絵図、明治期の手書き絵図が閲覧できます。



は DA



絵はがきコレクション
愛知県に関する絵はがきが閲覧できます。



画 DA



画像コレクション
愛知県関係の資料のデジタル画像が閲覧できます。



「あいちBookサポーター」とは？

図書館を応援してくださる方から、本や物品をご寄附いただき、オーダーメイド型の寄附制度のことです。

- まずは「どんな分野の本や物品を寄附したいか」ご相談ください。
- ご意向を元に、寄附候補となる本や物品をご提案します。
- 図書館からご提案した候補の中からお寄附ください。
未永く活用いたします。



ささやかですが金額に応じて特典をご用意しています。

ぜひBookサポーターになって図書館を応援してください！

※「あいちBookサポーター」へ寄附すると、税法上の優遇措置が受けられます。



詳しくは、インターネットで

あいちBookサポーター

と

検索



または、右上のQRコードから、愛知県図書館Webサイトをご覧ください。

<https://websv.aichi-pref-library.jp/booksupporter/booksupporter.html>

あゆち 愛知県図書館報 第23号 2022(令和4)年10月 発行

編集・発行 愛知県図書館

ISSN 1880-5663

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3

■電話…(052) 212-2323 (代表) / (052) 212-3200 (調査相談)

■Webサイト…<https://www.aichi-pref-library.jp>

開館時間

●火～金……………10時～20時 ※児童図書室・視覚障害者資料室は10時～18時

●土・日・祝日…10時～18時

休館日

■月曜日・毎月第2木曜日

※その日が祝日(振替休日・国民の休日)に当たるときは開館、次の平日に休館

■年末年始・館内整理のための休館



愛知県図書館 HP



スマホ HP

